



【速報版】

保育・幼児教育施設における 『絵本』に関する調査

目次

- 1. 本調査について p3
- 2. 園を取り巻く絵本環境
 - 1. 蔵書数 p4
 - 2. 年間の平均購入予算 p5
 - 3. 近隣地域の活用 p6
 - 4. 寄贈の有無 p7
- 3. 絵本の購入
 - 1. 保護者の負担や補助金について p8
 - 2. 購入形態について p9
 - 3. 購入方法について p10
- 4. 絵本環境に対する認識
 - 1. 蔵書数と予算 p11
 - 2. 「実際の蔵書数」との関連 p12
 - 3. 「購入予算への認識」との関連 p13
- 5. 速報版のまとめと今後の展望 p14
- 調査票見本 p15
- 後付 p16

本調査について

目的

- ・ 近年、より多くの子どもが保育・幼児教育施設をより長時間利用するようになっていきます。
- ・ そのため、都市部を中心として就学前の保育・幼児教育施設が急増しています。
- ・ また、子ども・子育て支援新制度が施行され、様々なタイプの保育施設も登場しています。
- ・ したがって、子どもの育つ場としての、保育・幼児教育施設の役割がこれまで以上に重要になっていると考えられます。
- ・ こうした背景を踏まえ、東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター（Cedep）とポプラ社は、共同で実施している研究「絵本・本と子どもの発達」における調査研究の第一弾として、保育・幼児教育施設における絵本・本環境の実態の概要を明らかにすべく、全国の保育・幼児教育施設（認定こども園、幼稚園、認可保育所、認可外保育施設等）を対象としたアンケート調査を実施しました。

調査概要

- ・ 2019年10月上旬に、ポプラ社のダイレクトメールを通じて、保育・幼児教育施設（33,566園）にアンケートを郵送しました
- ・ 発送先の内訳は右の通りです（幼稚園9,733：国立51、公立3,730、私立5,952／保育園22,981：公立8780、私立14,701／認証保育園852：私立852）
- ・ 回答はFAXまたは発達保育実践政策学センターのウェブサイト上で受け付けました
- ・ 回答締切は2019年10月31日でした
- ・ 回答のあった施設は、認可保育所611園、幼稚園301園、認定こども園80園、その他施設50園の計1,042園でした（回収率3.1%）

回答者の基本属性

- 回答数および施設形態

施設形態	認可保育所	幼稚園	認定こども園	その他	無答	合計
回答数（%）	611 (58.6%)	301 (28.9%)	80 (7.7%)	29 (2.8%)	21 (2.0%)	1042

施設形態	認可保育所	幼稚園	認定こども園	その他
平均設立年数（年）	36.37	56.31	41.13	23.94

施設形態	認可保育所	幼稚園	認定こども園	その他
平均園児数（人）	93.15	119.13	132.23	49.78

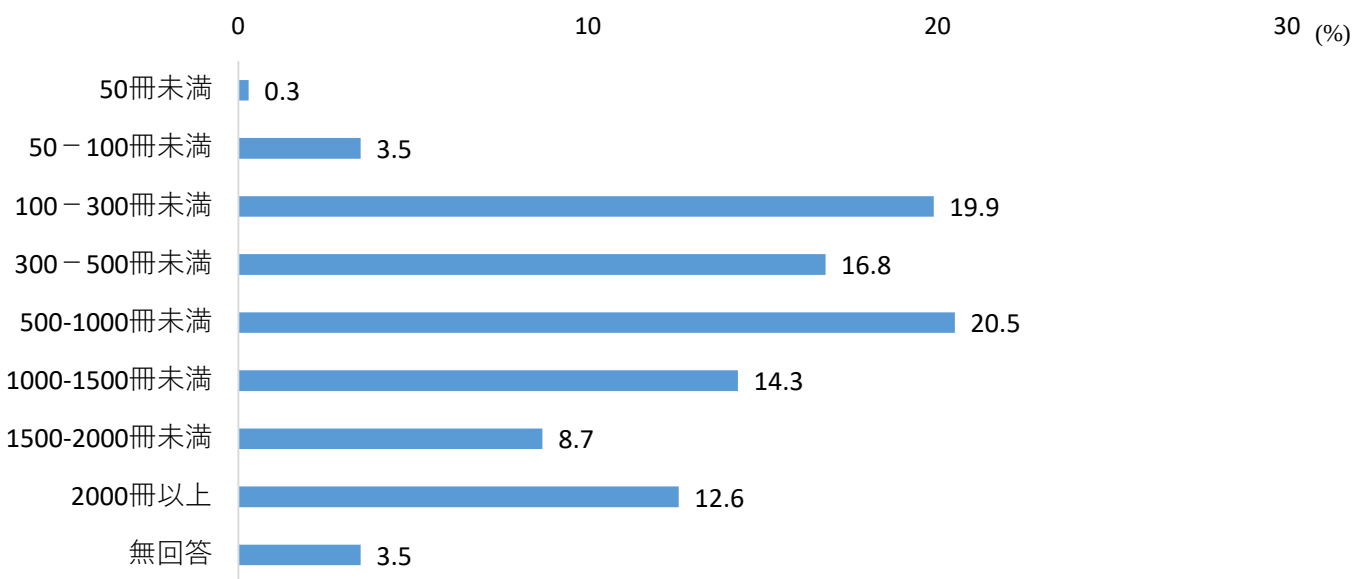
データに関する留意点

- ・ 全国の保育・幼児教育施設にアンケートを郵送しているものの、回答率が低いため、集計結果の解釈において、その点に留意する必要があります。
- ・ 認可保育所・認定こども園・幼稚園以外の、認可外保育施設を含むその他施設の回答が少なかったため、速報版には結果の詳細を記載していませんが、今後順次結果を公表していく予定です。

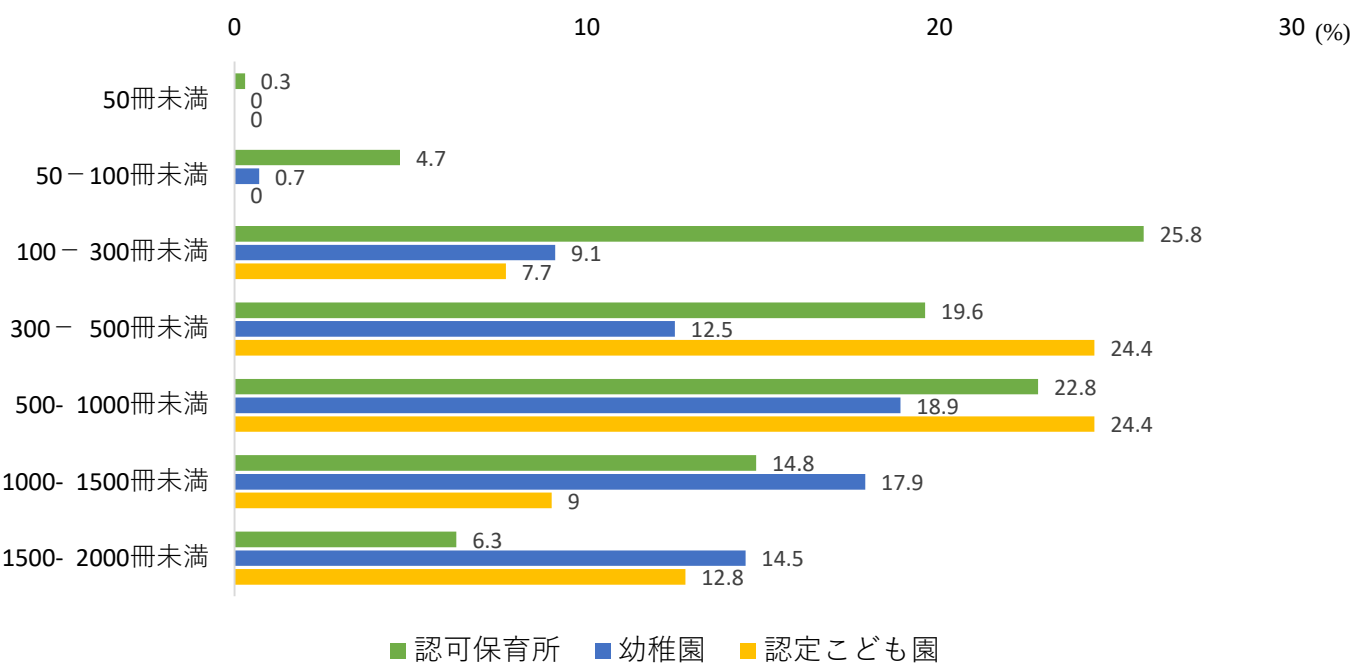
2-1. 園を取り巻く絵本環境：蔵書数

- 絵本の蔵書数は、約 8 割の保育現場が300冊以上であると回答していました
- なお、義務教育段階の教育施設（小中学校）における1校当たりの蔵書数は、全国平均で、**小学校では10,335冊、中学校では11,579冊**となっています
- **認可保育所では300冊未満の施設の割合が多いことがわかりました**
- その後の統計解析を通じて、①園児数が少ない施設ほど、②設立されてから時間が経過していない施設ほど、**蔵書数が少ない傾向にある**ことがわかりました
- したがって、認可保育所では、幼稚園・認定こども園に比べて蔵書数が少ない施設の割合が多い理由として、幼稚園や認定こども園に比べて園児数が少なく、新しい施設が多かったことが挙げられます

Q 園で所有している「絵本」のおおよその冊数を教えてください。（単一回答）



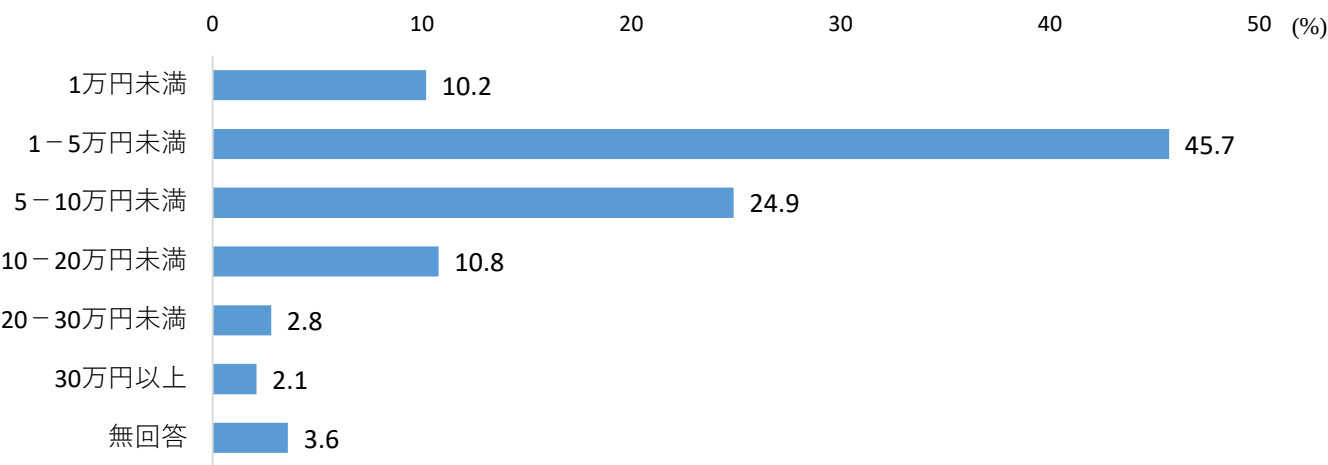
◆ 絵本の蔵書数の割合：施設形態別



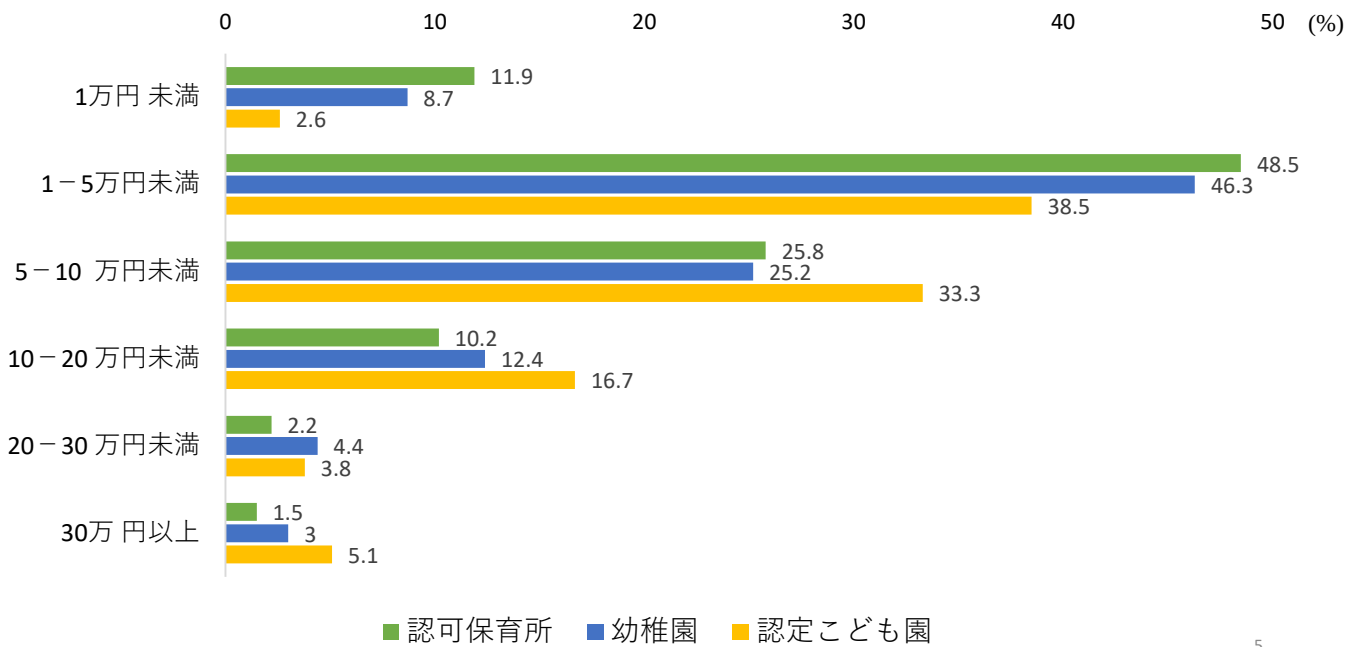
2-2. 園を取り巻く絵本環境：年間の平均購入予算

- 絵本の年間平均購入予算は、約 6 割の保育現場が「5 万円未満」と回答していました
- なお、義務教育段階の教育施設（小中学校）における1校当たりの年間予算は、全国平均で、**小学校では平均49.8万円、中学校では58.7万円**となっています
- 施設形態別にみていくと、認定こども園の予算が他の施設に比べて年間予算がやや多いことがわかります
- その後の統計解析を通じて、年間予算がより多い施設では、①園児数がより多い傾向にあり、また、②設立年が古い傾向にある（古くからある施設である）ことがわかりました
- 更に、園児数がより少ない施設が・設立されてから間もない場合に、予算がより少なくなる傾向にあることがわかりました

Q 1年間の「絵本」の平均購入予算を教えてください。（単一回答）



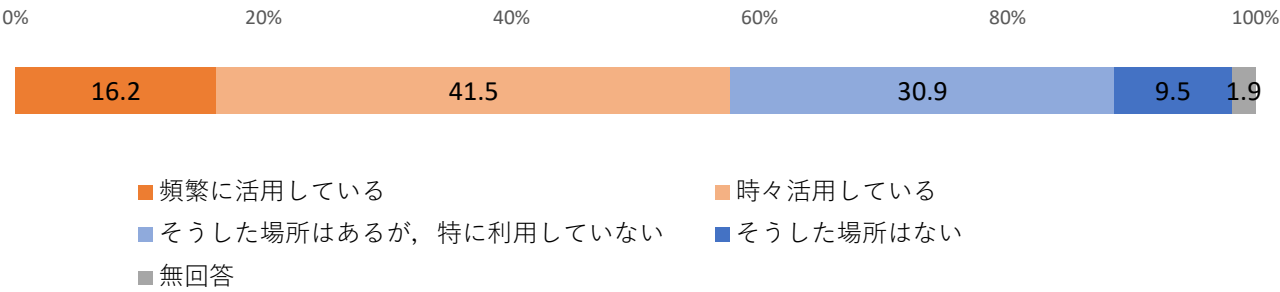
◆ 年間の絵本予算の割合：施設形態別



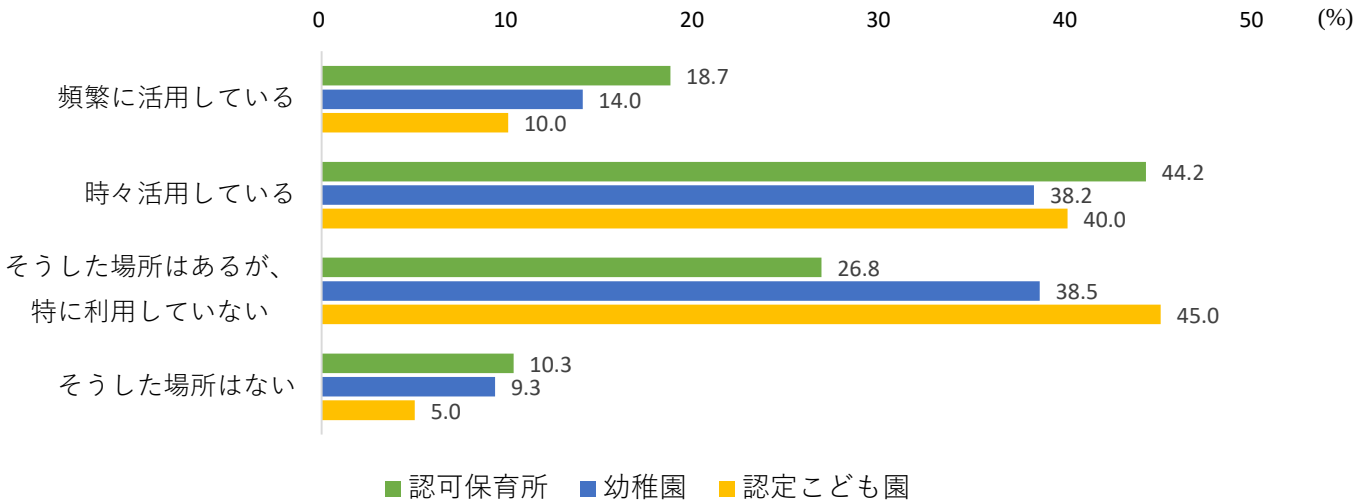
2-3. 園を取り巻く絵本環境：近隣地域の活用

- 半数以上の保育・幼児教育施設が、絵本を借りることができる近隣の施設を活用していると回答していることがわかりました（「近隣地域に絵本を借りる場所があり、活用しているか」の設問について「頻繁に活用している」、「時々活用している」と回答した保育現場は約5割を超えていました）
- 施設形態別に見ていくと、認可保育所は、幼稚園・認定こども園と比較して、絵本・本の借用のために近隣施設をより積極的に活用している割合が高いことがわかります
- なお、近隣地域で絵本を借りることができる場所として、図書館が5割を超えていました

Q 園の近隣地域に「絵本」を借りる場所はある、活用していますか。（単一回答）

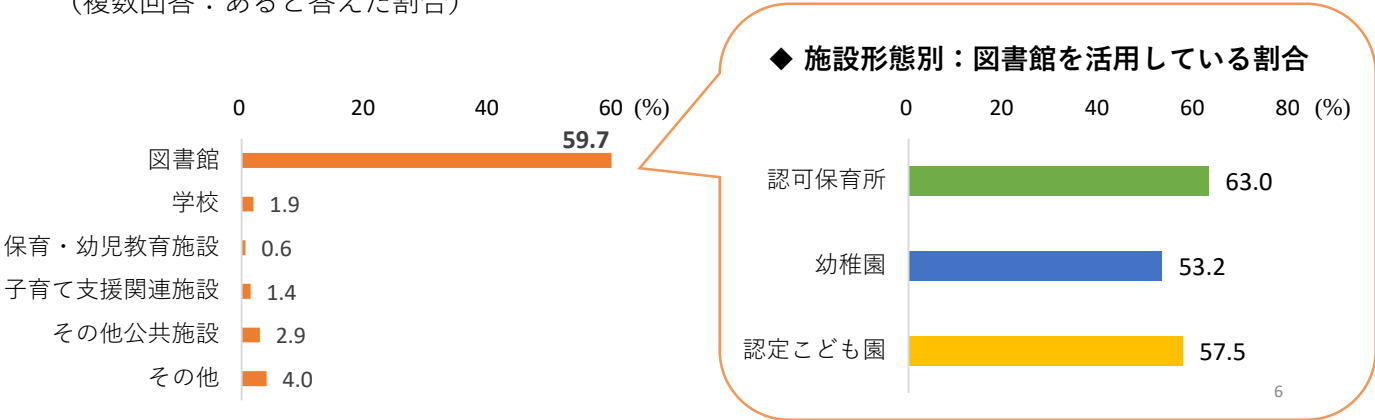


◆ 施設形態別：園の近隣地域に「絵本」を借りる場所はある、活用していますか。

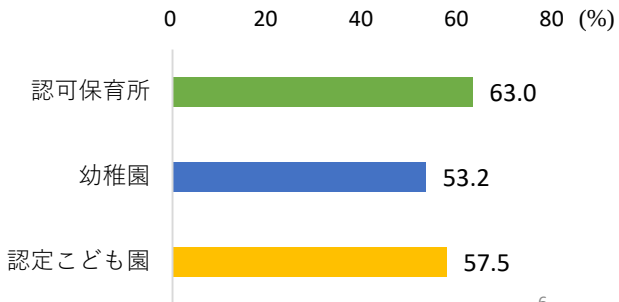


Q 上記の質問で、活用していると回答した園に、それはどのような場所ですか。

（複数回答：あると答えた割合）



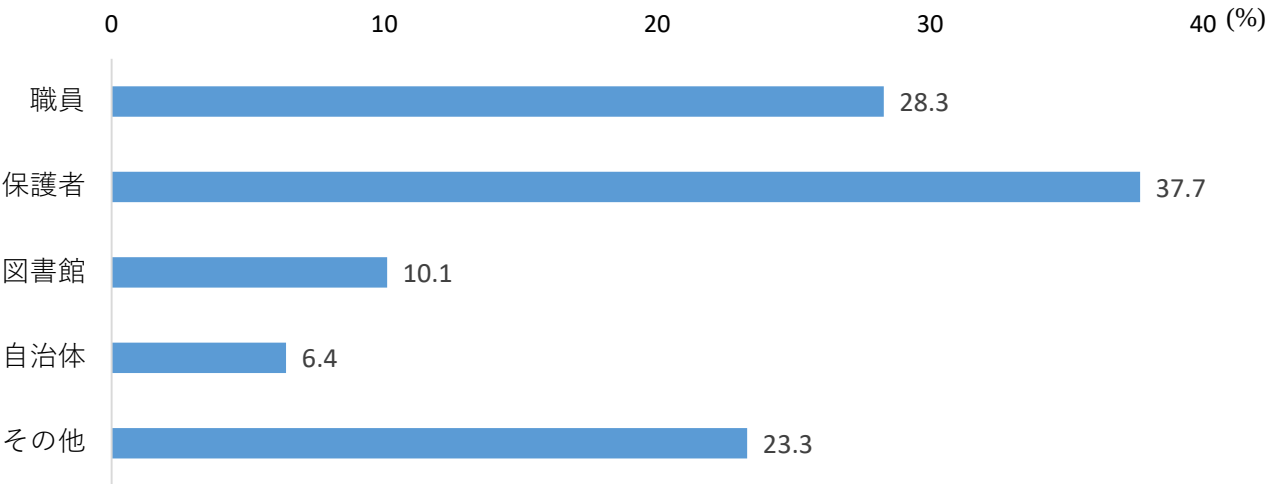
◆ 施設形態別：図書館を活用している割合



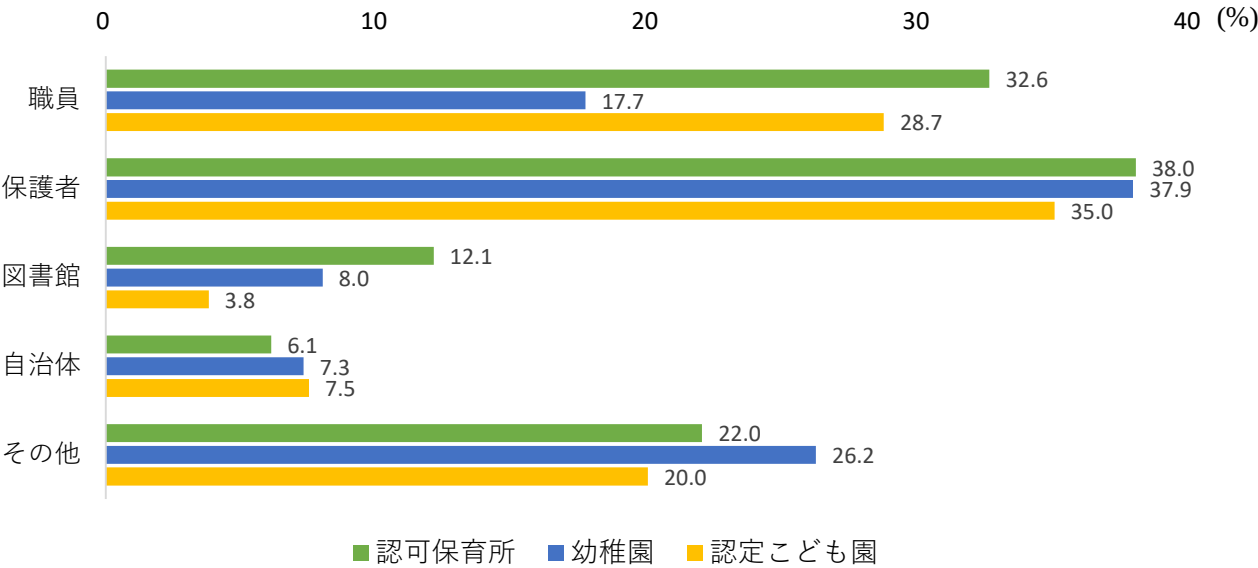
2-4. 園を取り巻く絵本環境：寄贈の有無

- 多くの施設で園関係者や保護者、自治体から絵本・本を寄贈されていることがわかりました
- 絵本の寄贈は職員や保護者からが多い傾向にありましたが、「その他」の割合も高く、自由回答からは、企業や財団、園のOB/OGなどから絵本・本の寄贈が行われていることがわかりました

Q 過去1年間に以下から「絵本（古本含）」の寄贈はありましたか。
(複数回答、「ある」と答えた割合)



◆ 施設形態別：絵本の寄贈の有無の割合
(複数回答：あると答えた割合)



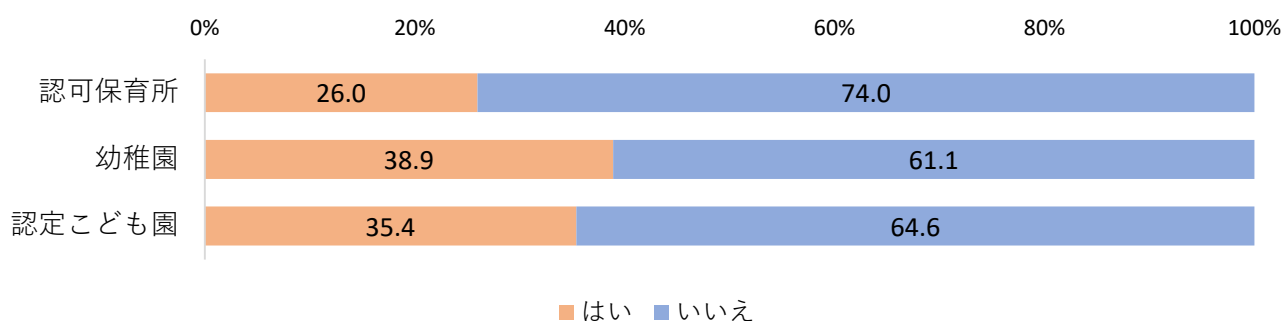
3-1. 絵本の購入：保護者の負担や補助金について

- 約3割の施設で、絵本の購入にあたって保護者の費用負担があることがわかりました
- 保護者の費用負担のある施設は、幼稚園で最も割合が多く、認可保育所で低いことがわかりました
- 園で絵本を購入する際に、自治体の補助金があると回答した施設は全体で10%程度と割合が低かった一方で、**幼稚園では他の施設形態に比べて自治体の補助金があると回答した施設がやや多いことがわかりました**

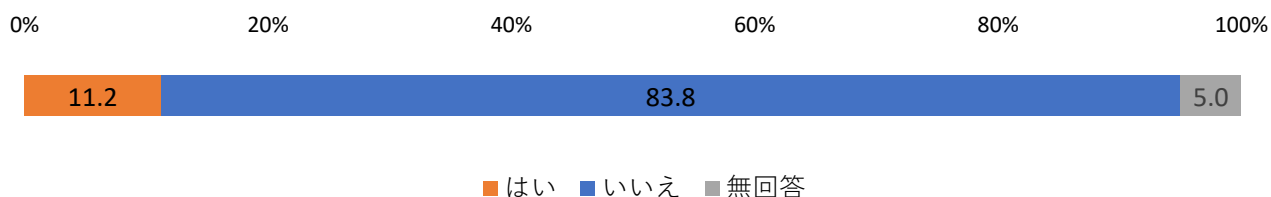
Q 園でお子さんが使用する「絵本」の購入にあたって、保護者の費用負担はありますか。



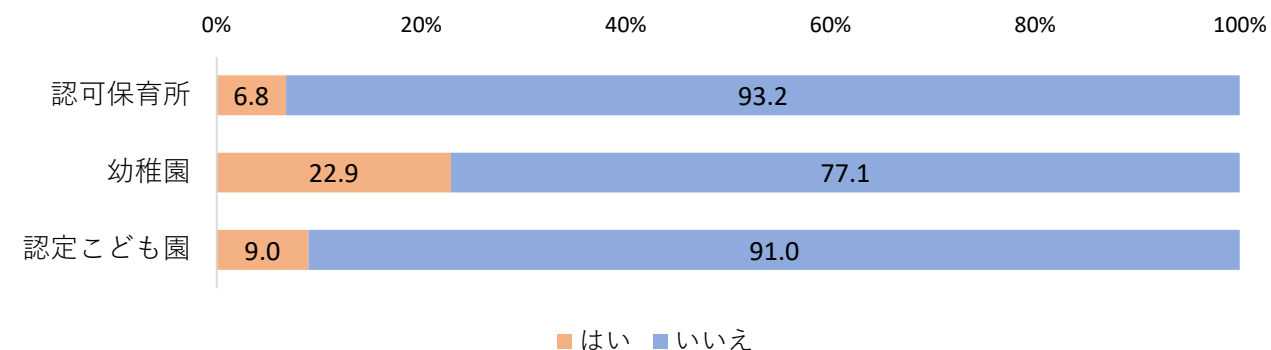
◆ 施設形態別：保護者の費用負担の有無の割合（有効回答のみ）



Q 園の所在する市町村・都道府県に「絵本」を購入するための補助金等がありますか。



◆ 施設形態別：補助金の有無の割合（有効回答のみ）

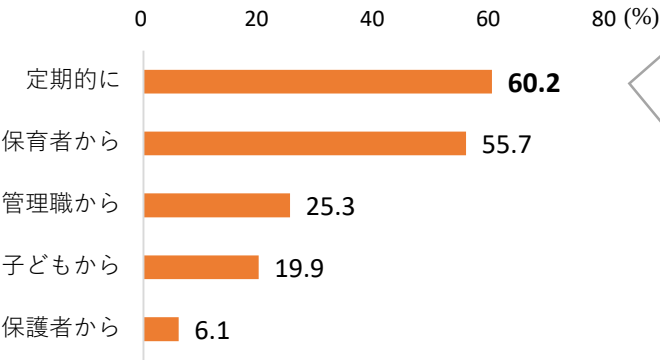


3-2. 絵本の購入：購入形態について

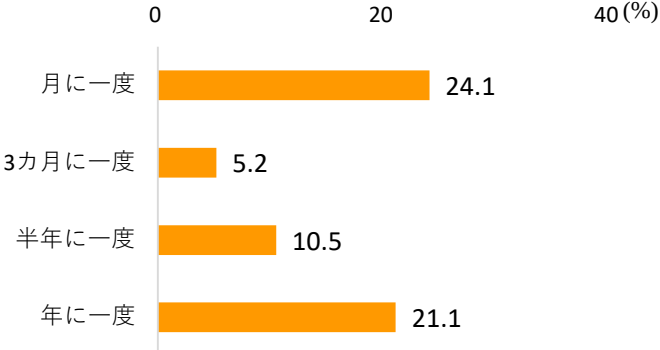
- 絵本を「定期的に購入している」と回答した施設は全体の約 6 割であり、施設形態別にみると、「定期的に購入している」と回答した施設の割合が認定こども園で高くなっていました
- 「保育者から希望が出たとき」に絵本を購入するとしていた施設の割合もおおよそ 5 割であり、内訳をみると、認可保育所では他の施設に比べて保育者から希望が出た際に絵本を購入している施設が多いことがわかります

Q どのようなときに「絵本」を購入しますか。

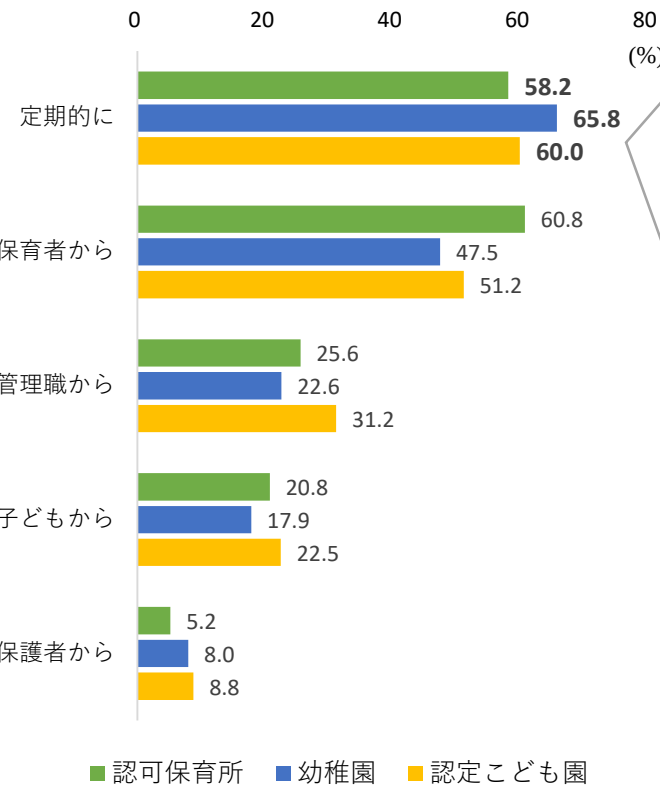
(複数回答：あると答えた割合)



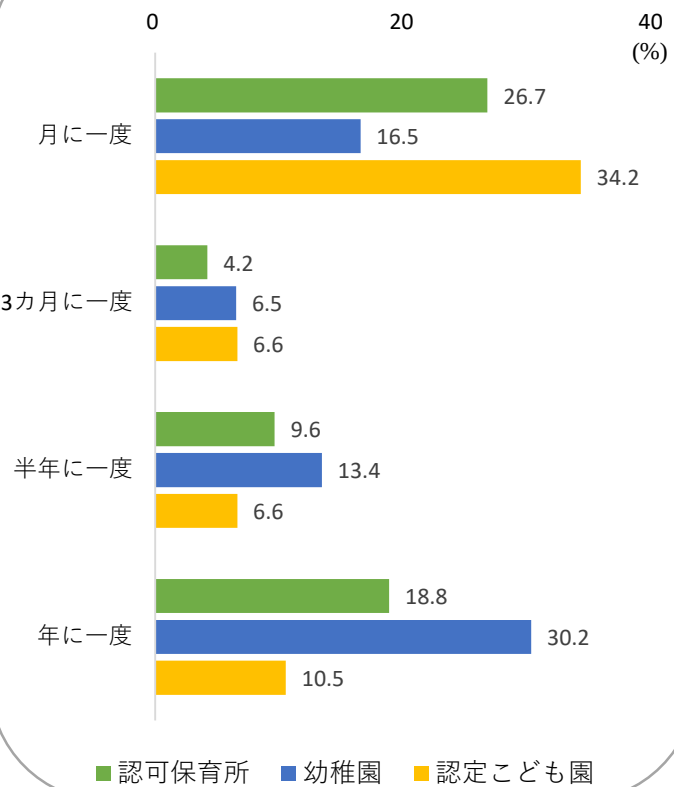
● 購入頻度 (各選択肢にあると答えた割合)



◆ 施設形態別：絵本の購入形態



● 購入頻度 (各選択肢にあると答えた割合)



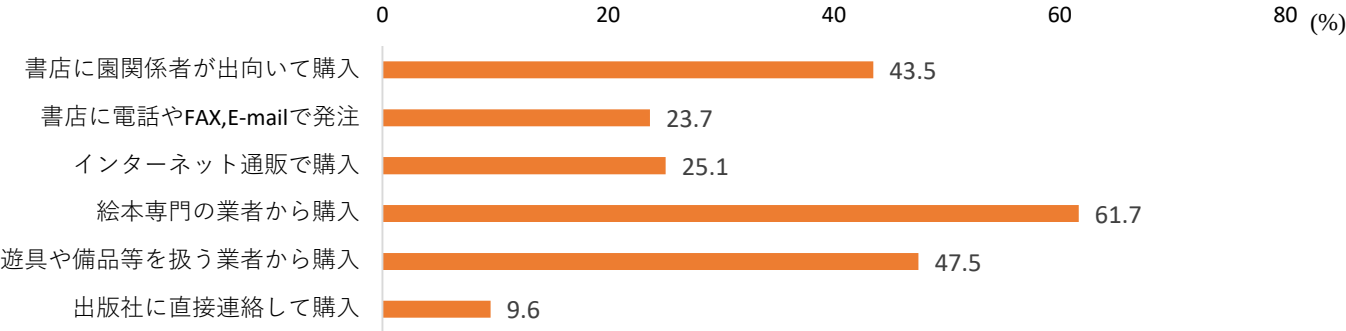
※選択肢について：

保育者から＝保育者から希望が出た時、管理職から＝管理職から希望が出た時
子どもから＝子どもから希望が出た時、保護者から＝保護者から希望が出た時

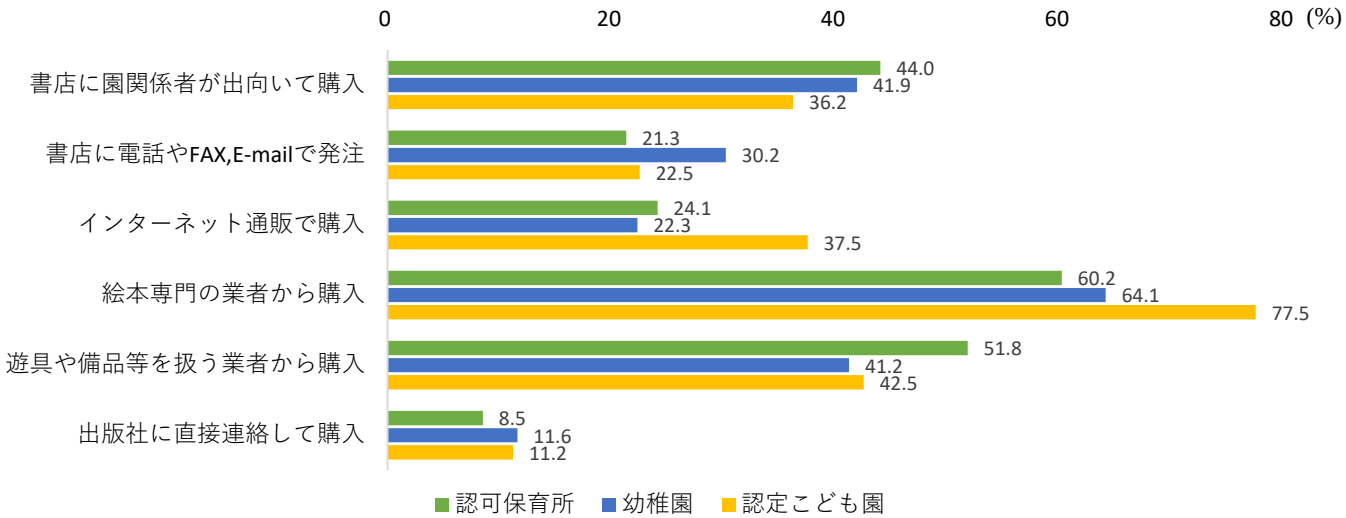
3-3. 絵本の購入：購入方法について

- 絵本の購入方法として最も多かったのが「絵本専門の業者から購入」であり、認定こども園で割合が最も高くなっていました
- 他に、「遊具や備品を扱う業者から購入」「書店に園関係者が出向いて購入」の割合も高くなっていました
- 購入する絵本の選び手として最も割合が高かったのは保育者であり、園長・副園長、主任がそれに続いていました
- 子どもが購入する絵本選びに参画する施設の割合は6.9%と少数派であることがわかりました

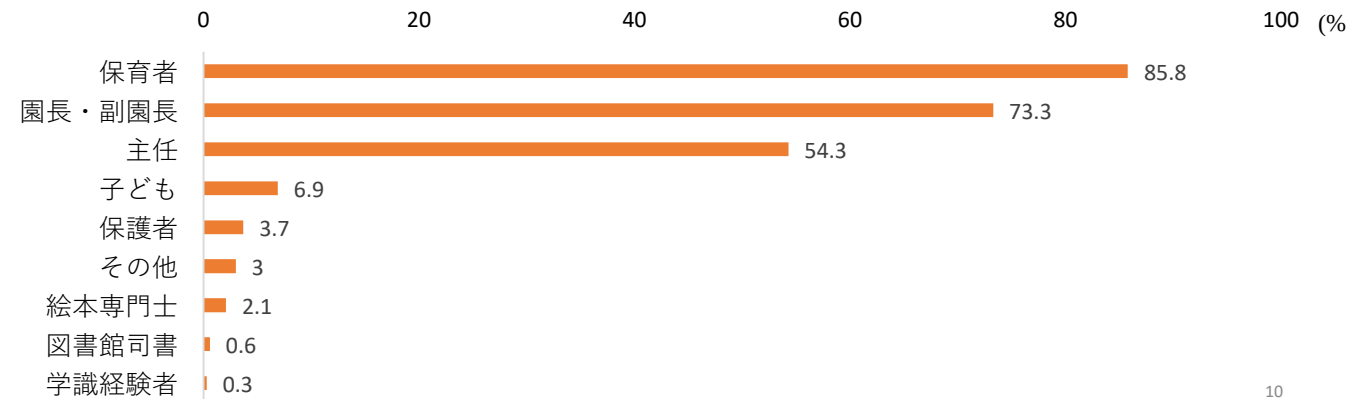
Q 「絵本」の購入方法を教えてください。（複数回答：あると答えた割合）



◆ 施設形態別：絵本の購入方法



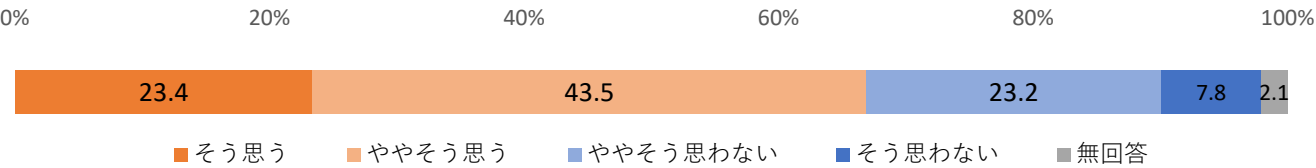
Q 購入する「絵本」はどなたが選んでいますか。（複数回答：あると答えた割合）



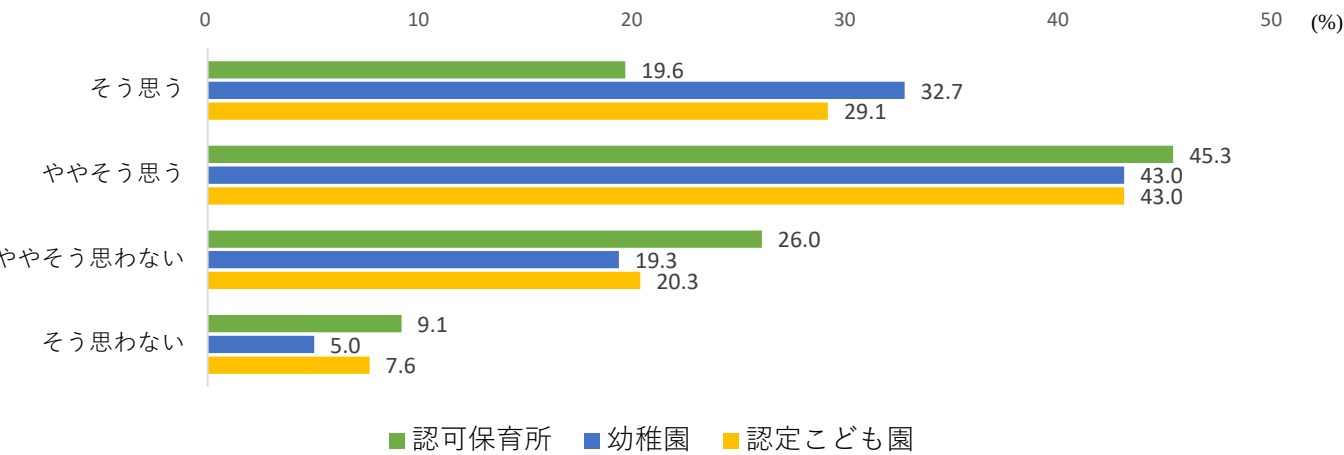
4-1. 絵本環境に対する認識：蔵書数と予算

- 絵本の蔵書数が充分であると回答した施設（「そう思う」「ややそう思う」とした施設）は66.9%となっており、半数以上の施設が蔵書数に満足していることが分かりました
- 認可保育所では「そう思う」と回答した割合が他の施設に比べて少なくなっていました
- 年間予算についても同様に、半数以上の施設が満足していると回答していました
- そして、蔵書数と同様、認可保育所は他の施設に比べて年間の購入予算が充分であるとした施設の割合が少なくなっていました

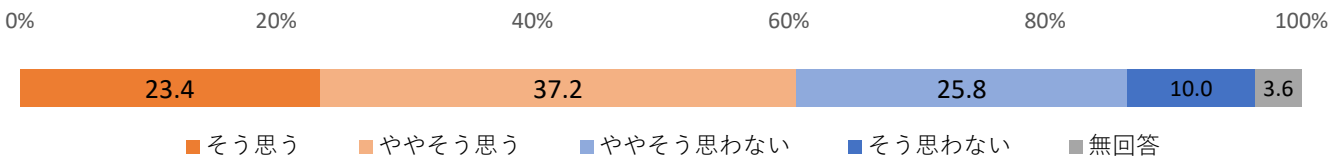
Q 園における「絵本」の蔵書数は、十分だと思いますか。（単一回答）



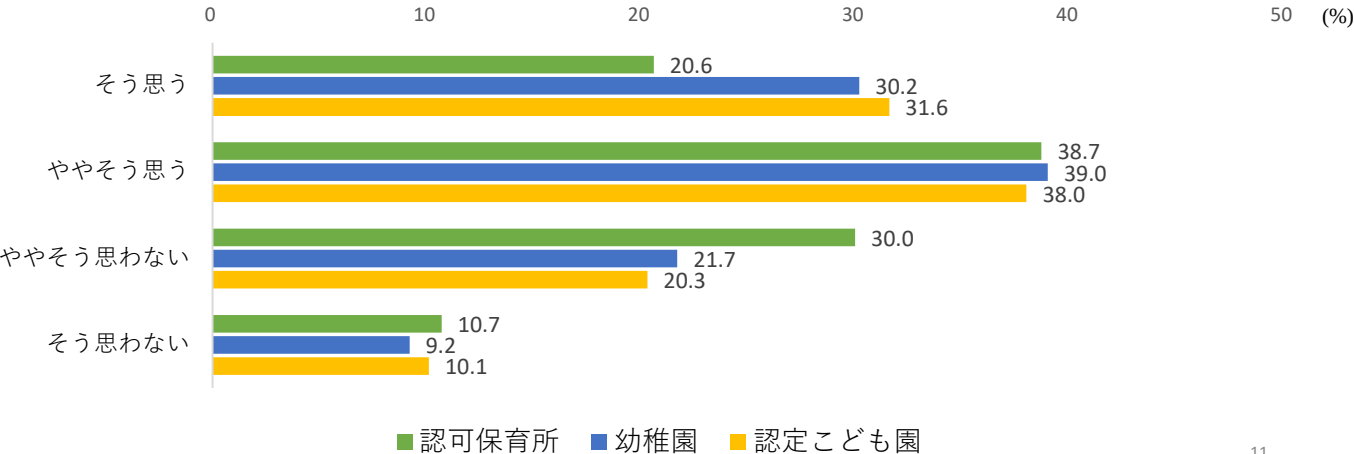
◆ 園における「絵本」の蔵書数に対する満足度の割合：施設形態別（有効回答のみ）



Q 今年度の「絵本」の購入予算は、十分だと思いますか。（単一回答）



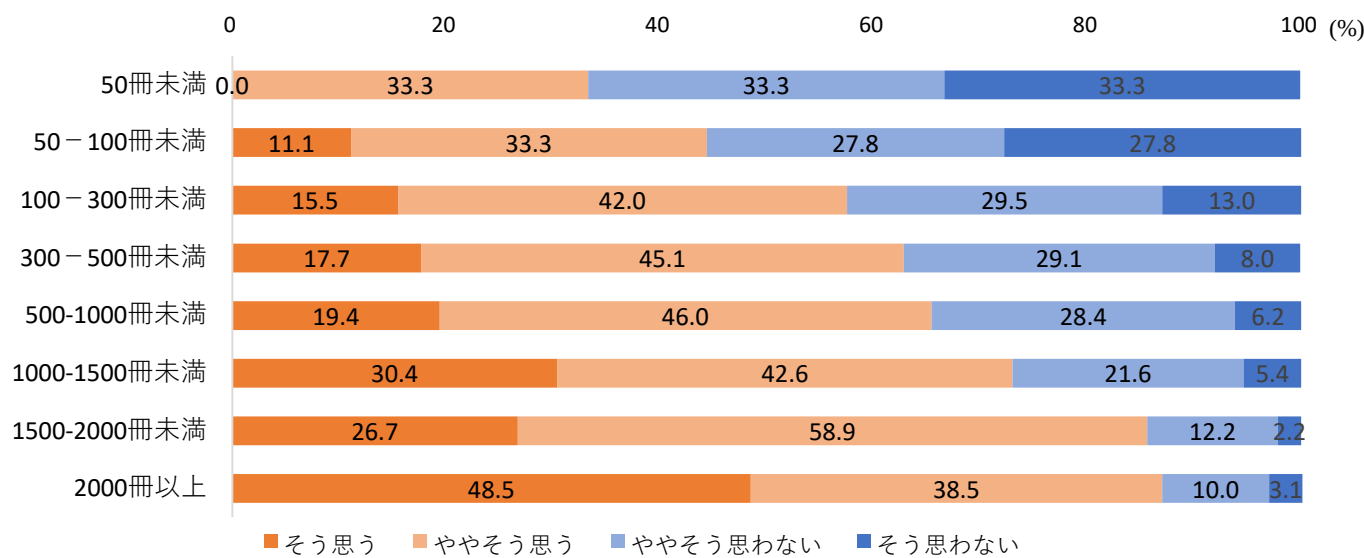
◆ 今年度の「絵本」の購入予算に対する満足度の割合：施設形態別（有効回答のみ）



4-2. 絵本環境に対する認識：「実際の蔵書数」との関係

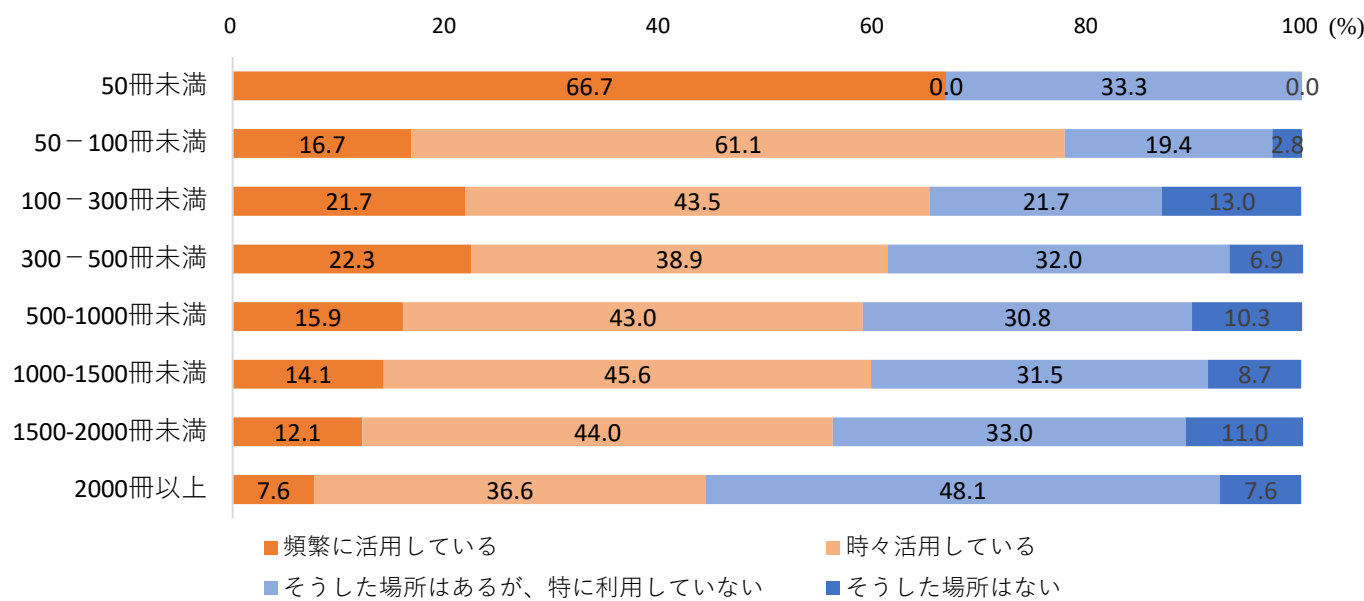
- 絵本の蔵書数がより多い施設ほど、蔵書数が十分であると回答する割合が高くなっていました
- 特に、蔵書数が2000冊以上の施設では蔵書数が十分であると思うかという質問に「そう思う」とする割合が約半数に上っていました
- また、蔵書数が少ない施設ほど、近隣施設の絵本を活用する頻度が高くなっていました

◆ 「実際の蔵書数」と「蔵書数が十分であるかどうかに対する認識」との関係



※ 「蔵書数が十分であるかどうかに対する認識」 =
Q. 「園における「絵本」の蔵書数は、十分だと思いますか」に対する回答

◆ 「実際の蔵書数」と「近隣地域の活用」との関係

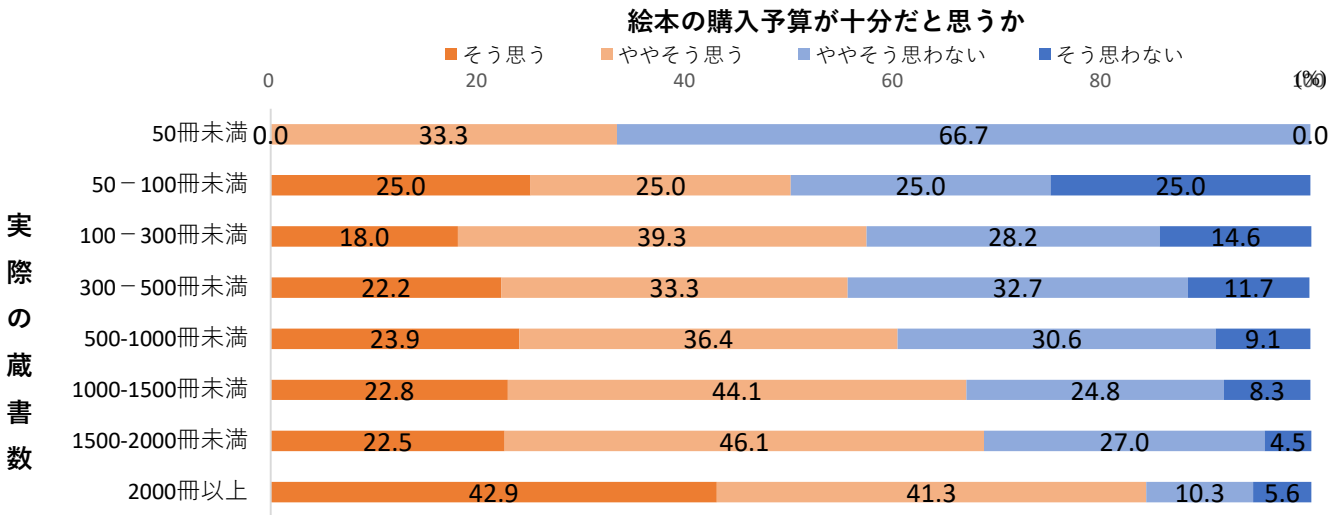


※ 「近隣地域の活用」 =
Q. 「園の近隣地域に「絵本」を借りる場所があり、活用していますか」に対する回答

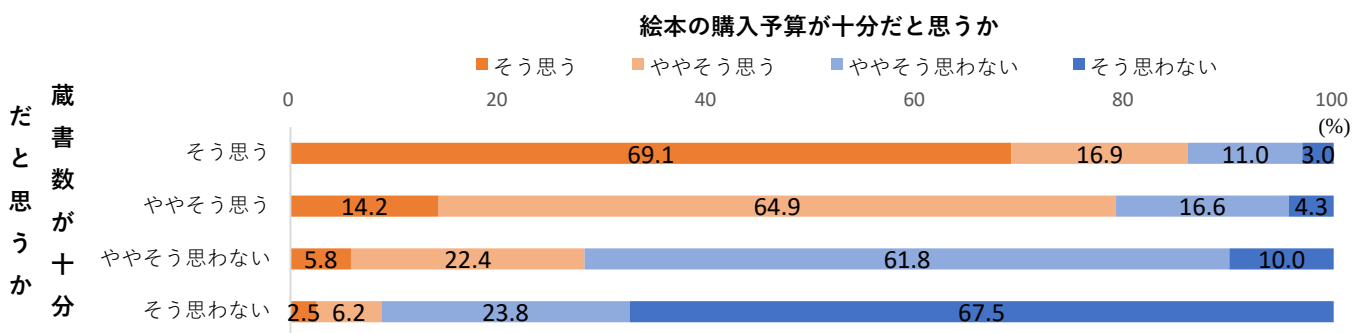
4-3. 絵本環境に対する認識：「購入予算への認識」との関係

- 絵本の蔵書数が多い施設ほど、絵本の年間購入予算が十分であると回答する割合が高くなっていました
- また、絵本の蔵書数が十分であるかどうかという項目に「そう思う」としていた施設の86%が年間予算も十分であると回答していたのに対して、「そう思わない」としていた施設の91.3%が年間予算が十分でないと回答していることがわかりました

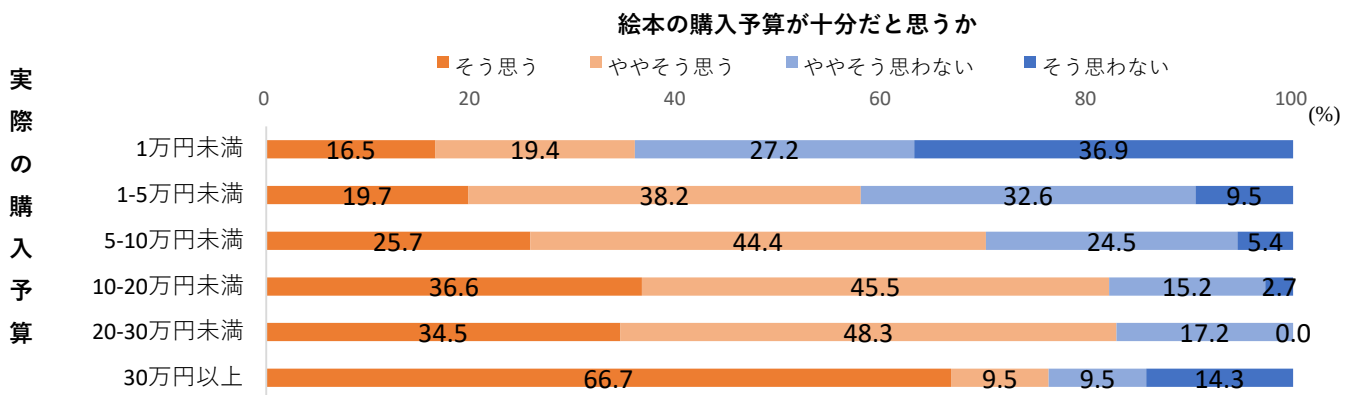
◆ 「購入予算への認識」と「実際の蔵書数」との関係



◆ 「購入予算への認識」と「蔵書数に対する認識」との関係



◆ 「購入予算への認識」と「実際の購入予算」との関係



5. 速報版のまとめと今後の展望

➤ **本調査は全国の保育・幼児教育施設の絵本環境の実態調査としては初の試みであり、以下の事柄が明らかになった点に意義があると考えられます。**

1. 就学期以降の教育施設（小学校・中学校）に比べて、保育・幼児教育施設における絵本・本の蔵書数と予算は少ない傾向にあることがわかりました。
より多くの子どもたちが、より長い時間、保育・幼児教育施設を利用するようになっているため、今後、絵本・本環境のあり方についてより真剣に考えていく必要があると言えます。
2. 蔵書数や予算については、就学期以降の施設に比べて少ないものの、半数以上の施設で、現在の蔵書数・予算が十分であると認識されていることもわかりました。
ただし、蔵書数・予算が十分でないと回答した施設ほど、実際の蔵書数・予算も少ない傾向にあることもわかりました。
3. 幼稚園・認定こども園に比べて、認可保育所では蔵書数や絵本・本の予算額が少ない傾向にありました。
この理由として、認可保育所では他の施設に比べて園児数が少なく、設立されて間もない施設が多いことが挙げられます。
全ての施設形態について、園児数が少なく、かつ、設立されてから日の浅い園では特に蔵書数が少なく、予算も少なかったことから、こうした施設については特に重点的に絵本・本環境の質の保障と向上を検討していく必要があることが推察されます。
4. また、蔵書数が少ない園ほど、近隣施設（主に図書館）を頻繁に利用していることも明らかになりました。
したがって、就学前期の子どもたちにとっての絵本・本環境の質の保障と拡充を検討していく際には、地域にある図書館や児童館の活用も含めて検討していく必要があると言えます。
5. 保育者や園長、主任が施設で購入する絵本・本の主たる選び手になっていた一方で、子ども自身が購入する絵本選び参与することはそれほど多くないことがわかりました。
子どもが自ら読む本を選ぶ主体になりうるということを、園やクラスに配置する絵本を購入・導入する段階から意識していくことも重要かもしれません。

➤ **今後の調査では、本調査結果を踏まえた上で、どのような絵本・本を、園やクラスにどのように配置したり、活用したりしているのか等、絵本・本環境の質の具体的な側面について、さらに検討を加えていく予定です。**

☆設問1～16にご記入の上、回答をFAXにてご送信賜れますと幸いです。

FAX 送信先: **03-6748-8244** [東京大学 Cedep 調査用]

▶インターネットからご回答いただけます。右の QR コード, 又は URL
<http://www.cedep.p.u-tokyo.ac.jp/event/17343/>よりお願いします。

※本調査において『絵本』に含まれるもの: 一般的絵本, 布絵本, 児童書, 図鑑, 子ども向け月刊誌
(子どもが共同利用するもの) / 『絵本』に含まないもの: 紙芝居, デジタル絵本, 子ども向け月刊誌



1. 施設形態について教えてください。(どれか1つに○)

A	認可保育所	B	幼稚園	C	認定こども園	D	小規模保育所
E	地方単独保育施設(認証保育所等)	F	企業主導型保育所				
G	その他の認可外保育施設()	H	その他()				

2. 園で所有している『絵本』のおおよその冊数を教えてください。(どれか1つに○)

A	50 冊未満	B	50～100 冊未満	C	100 冊～300 冊未満
D	300～500 冊未満	E	500～1000 冊未満	F	1000 冊～1500 冊未満
G	1500 冊～2000 冊未満	H	2000 冊以上(約冊)		

3. 1年間の『絵本』の平均購入予算を教えてください。(どれか1つに○)

A	1 万円未満	B	1～5 万円未満	C	5～10 万円未満
D	10～20 万円未満	E	20～30 万円未満	F	30 万円以上

4. 園でお子さんが使用する『絵本』の購入にあたって、保護者の費用負担はありますか。

A	いいえ	B	はい▶(年額円)または(月額円)
---	-----	---	------------------

5. 過去1年間に以下から『絵本(古本含)』の寄贈はありましたか。(該当選択肢全て○)

A	職員	B	保護者	C	図書館	D	自治体	E	その他()
---	----	---	-----	---	-----	---	-----	---	--------

6. 園の所在する市町村・都道府県に『絵本』を購入するための補助金等がありますか。

A	ない	B	ある▶▶ 昨年度の補助金額(円)
---	----	---	------------------

7. 園の近隣地域に『絵本』を借りる場所はありませんか。(どれか1つに○)

A	頻繁に活用している	B	時々活用している
C	そうした場所はあるが、特に利用していない	D	そうした場所はない

8. 7でAもしくはBとした方: それはどのような場所ですか。(該当するもの全てに○)

A	図書館	B	学校(小・中学校, 高校, 大学等)	C	保育・幼児教育施設
D	子育て支援関連施設	E	その他公共施設	F	その他()

9. 園における『絵本』の蔵書数は、十分だと思いますか。(どれか1つに○)

A	そう思う	B	ややそう思う	C	あまりそう思わない	D	そう思わない
---	------	---	--------	---	-----------	---	--------

10. 今年度の『絵本』の購入予算は、十分だと思いますか。(どれか1つに○)

A	そう思う	B	ややそう思う	C	あまりそう思わない	D	そう思わない
---	------	---	--------	---	-----------	---	--------

11. どのようなときに、『絵本』を購入しますか。(該当するもの全てに○)

A	定期的に▶▶ (a. 月に一度, b. 3 カ月に一度, c. 半年に一度, d. 年に一度)		
B	保育者から希望が出たとき	C	管理職から希望が出たとき
D	子どもから希望が出たとき	E	保護者から希望が出たとき
F	その他()		

12. 『絵本』の購入方法を教えてください。(該当するもの全てに○)

A	書店に園関係者が出向いて購入	B	書店に電話や FAX, e-mail で発注
C	インターネット通販で購入	D	絵本専門の業者から購入
E	遊具や備品等を扱う業者から購入	F	出版社に直接連絡して購入
G	その他()		

13. 購入する『絵本』は、どなたが選んでいますか。(該当するもの全てに○)

A	園長・副園長	B	主任	C	保育者
D	保護者	E	学識経験者	F	絵本専門士
G	子ども	H	図書館司書	I	その他()

14. 『絵本』の購入に関して課題や困り事として認識していることがあれば教えてください。

--

15. 『絵本』にまつわる環境の整備に関して、園で独自に取り組んでいることはありますか。

--

16. 差し支えなければ、以下の情報を教えてください。※園の特定等には使用しません

園児数	()	名	設立年	()	年	都道府県	()
-----	-----	---	-----	-----	---	------	-----

本調査は東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センターと株式会社ポプラ社との共同研究「絵本・本と子どもの発達」における調査研究の第一弾として実施されたものです。

■ 監修・実施

- 秋田喜代美（東京大学大学院教育学研究科長・教育学部長 教授）
- 遠藤利彦（東京大学大学院教育学研究科 附属発達保育実践政策学センター長 教授）
- 野澤祥子（同附属 発達保育実践政策学センター 教授）
- 高橋翠（同附属 発達保育実践政策学センター 特任助教）
- 佐久間路子（白梅学園大学 教授）
- 菅井洋子（川村学園女子大学 教授）
- 仲本未央（白梅学園大学 教授）
- 唐音啓（東京大学大学院教育学研究科・博士課程）
- 松田恭子（株式会社ポプラ社）
- 花立健（株式会社ポプラ社）

■ 分析協力

- 北條大樹（東京大学大学院教育学研究科博士課程・日本学術振興会特別研究員DCI）
- 村井咲月（東京大学教育学部 学部学生）
- 福地綾音（東京大学教育学部 学部学生）
- 菅原まり（東京大学教育学部 学部学生）



ポプラ社

